

# 農業と食料についての課題と考察を引き出す出前授業の実施

農業等生産状況や食料の需給事情を踏まえつつ、将来への課題や自分達でできる取組を考察し、持続可能な農林水産業を探っていくことを狙いとした出前授業を実施（令和6年12月17日）

## ○ 施策分類

【農政の方向性】出前授業

【みどりの食料システム戦略】環境負荷低減

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

小学校の先生から、「小学5年生の学習単元で米及び水産業における生産から消費について扱った。まとめの学習として、その他の作物等の生産等状況や食料の需給事情を踏まえつつ、将来への課題や自分達でできる取組を考察し、持続可能な農林水産業を探っていくことを狙いとする出前授業をお願いできないか。」と地方参事官に依頼があった。

## ○ 取組の内容

小学5年生、59名に対し、「農林水産省 消費者の部屋 こどもそうだん」、「ジュニア農林水産白書」等から作成した資料「日本の食料と農業について」を解説。食料・農業・農村や水産業の現状を知ってもらうとともに、「みどりの食料システム戦略」の取組事例を解説しつつ、環境負荷低減の取組の見える化として、「みえるらべる」の取組等を紹介し、持続可能な社会の実現に向け何が必要なのかを考えてもらう機会とした。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

授業後、生徒からは多くの質問や感想が提出されるなど、出前授業が生徒たちの日本の農業や食料生産、環境負荷低減の取組に対して興味を持つことや考察のきっかけとすることに寄与できた。



授業を聞く生徒たち



出前授業の説明風景

## 体制図

